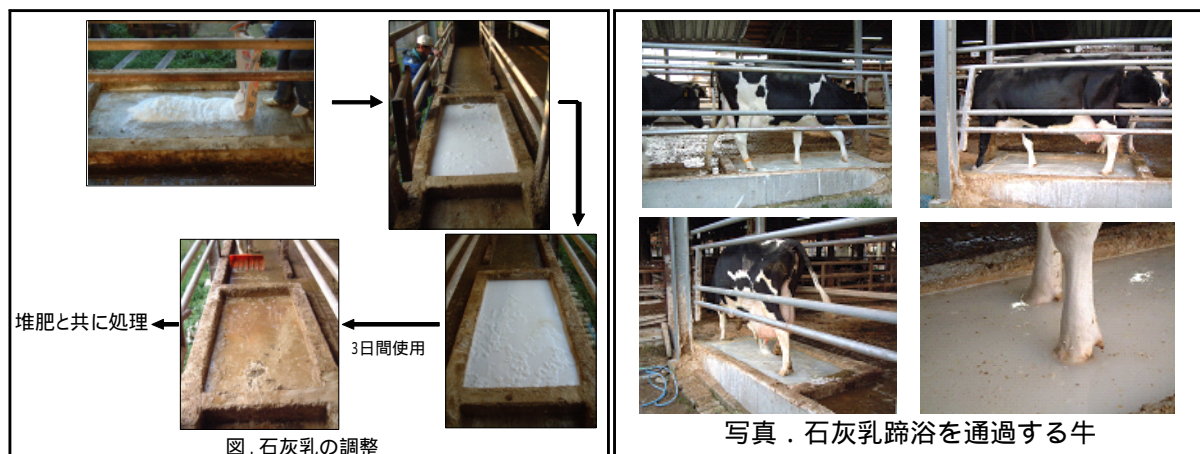


石灰乳による牛の蹄浴

趾皮膚炎が多発した酪農家において石灰乳による蹄浴を行い、良好な成果が得られたので紹介します。



パーラーの出口に踏み込み式蹄浴槽（大きさ：長さ170cm、幅90cm、深さ13cm）を設置しました（図1）。この蹄浴槽に20kgの消石灰を入れ、80Lの水を加えて石灰乳を作製しました。石灰乳は3日間使用し、その後は堆肥に混入して処理をしました。これを連日繰り返しました。

	4～5月	11月
	石灰乳使用前	石灰乳使用后
発生頭数 (跛行頭数)	44 (27)	16 (0)
趾皮膚炎	30	13
蹄葉炎	19	5
蹄球糜爛	15	
蹄間過形成	3	
趾間フレグモーネ	4	

石灰乳による蹄浴の実施により蹄病罹患牛は減少し、その結果として蹄病治療にかかる損失をかなり防ぐことが出来ました。また、平成17年度には蹄病に起因する廃用牛は4頭でしたが、石灰乳による蹄浴を実施した後は蹄病に起因する廃用は全くなくなりました。これらのことから、石灰乳による蹄浴は、趾皮膚炎などの蹄病に対する予防効果が認められ、有用な蹄病対策であると考えられました。